

八事山文庫

-3009号-

特集

就任のご挨拶	p.1
秋季彼岸会案内	p.6~7
雜行行列募集案内	p.9

八事山興正寺 有縁の皆様へ 就任のご挨拶

八事山興正寺
主監 西部法照

少しばかり秋の香が感じられるこの頃でございます。興正寺檀信徒、また有縁の皆様方には、ご静慮にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

私、この度「八事山興正寺」主監を拝命し、6月より就任をいたしました。これも尊い仏縁と享けとめ、伝統ある興正寺の寺門の安定と次世代への受け継ぎに全力を傾注してまいります。

ご承知の如く、當山は「尾張高野山」と称される如く、尾張地方随一の名刹であると同時に、人々の心の拠り所信仰と祈願の霊場でもあります。歴史的にも、尾張徳川家をはじめ、この地域の多くの人々の深い仰依を受けながら護持され、今日にまで伝えられてまいりました。

深い縁に覆われた広大な境内地は名古屋市民の憩いの場であり、思慮と敬虔に格好の自然林を有しております。

もとより、お寺は地域の人々の信仰に支えられながら、現当二世の安寧を祈願する聖地であります。その聖域に踏み入るとき、人々の心と魂は自ずから浄められ、心身の安らぎと不思議な聖力を感受致します。

お寺とは、そのような場であり同時に祖先の霊が安らかに眠る浄域であることを再確認したいと思っております。

秋の彼岸、八事山の浄域が多くの皆様方の信仰の梵音に満たされますことを心より祈念して就任のご挨拶とさせていただきます。

八事山・歳時記

なごや最大の火まつり 千燈祭

當山最大の行事「千燈祭」は明治24年に発生した濃尾地震犠牲者の鎮魂供養のために始まったと言われ、秋の風物詩として定着しています。興正寺総本尊大日如来さまの御前にて、万民の祈りを天まで届ける真言秘奥の柴燈大護摩祈禱を修法し、境内は先祖供養や願いのための燈籠で彩られます。当日は雜行行列も行われ、山伏の僧侶と稚児が境内を練り歩きます。

柴燈大護摩を修法する大日堂では山伏が智慧比べをする迫力ある問答や、護摩壇に結解を垂る宝弓の儀などがあり、宝弓の儀で山伏が放つ矢を運よく受け取った方は、厄除け破魔矢としてご自宅にお祀りいただけます。また、大日如来さまから分けていただいた智慧の火を松明に灯し、その松明で護摩壇に点火をします。

燃えさかる護摩壇にはあらゆる願いが記された特別護摩木が投げ入れられ、大日如来さまに願いが届くように祈ります。この特別護摩木は皆さまの手で投げ入れることもできます。ご家族、ご友人とご参加ください。

10月6日(土)15時〜 雜行行列
16時〜 柴燈大護摩祈禱

(永明)



年に一度の 観音堂秘仏開扉

観音堂の御本尊は、秘仏「正観世音菩薩」です。高さ一尺八寸の立像で、尾張徳川家二代藩主光友公の自筆で、「正観音、慈覺大師御作」という書きつけがあります。この尊像は光友公が、五十年來、念持仏として奉持し、興正寺建立とともに寄進されたもので、年に一度、扉を開扉して直接、お参りすることが出来ます。

本尊の略立には開山天瑞圓照和尚自作の西国三十三観音像が奉られています。

◆御開扉特別祈願

観音堂秘仏開扉にあわせて、特別祈願をお勧めいたします。僧侶による読経ならびに御杖加持にて、参拝者の大願成就を祈願いたします。当日参拝で参りますので、ぜひ、この勝縁に特別祈願ご参加いただき、観音さまにご仏縁を深めてください。観音さまを御願い申し上げます。

◆観音堂秘仏開扉詳細

日時：10月5日(金)・10月13日(土)
開扉法会：9時より
法話：9時30分より
御開扉特別祈願：10時〜14時まで
場所：西山観音堂
◆御開扉特別祈願
祈願料1,000円から(護摩木付)



行事のご案内

■9月5日(水) 10時〜11時30時 西山本堂にて
大般若経転読祈禱会

大般若経とは、全六百巻におよぶたいへん経典です。「転読」という特別な読み方にて、魔とケガレを吹き払う「梵風」を起し、皆さまの願いが御仏に届くよう、僧侶は声が枯れるまで、できる限りの力を振り絞り祈願いたします。また、お一人さま毎に僧侶よりお加持をさせていただき、厄除石加持祈禱も受け付けております。

厄除石加持祈禱料 3,000円

■9月8日(土) 10時〜16時 普照殿大書院にて

いのちの修行一身体験

お寺でしか考えられない「いのち」について、座学だけでなく作務や瞑想、参加者同士の意見交流を通して深められる稀有な機会です。僧侶とF.Pのダブル講師で、宗教観・現実面から、自分の「いのち」の本当の目標を探してみませんか。

支具料 3,500円(精進弁当つき)
申込方法 光明殿内 永代供養受付まで
申込締切 9月5日(水)17時

■9月8日(土) 10時〜15時 竹翠亭・耕雲亭にて

興正寺月釜

暮さの中にも初秋を感じる、9月の月釜です。懸釜は松尾流村瀬玄之先生 贈禮、口惜しむお席にぜひおかけください。

茶券 薄茶席二席 1,500円(前売・当日とも)
受付 9時〜14時30分 西山本堂入口

■9月20日(木)〜26日(水)

秋季彼岸合同供養会

同寺院如来のいらっしゃる極楽浄土は西の「彼岸」に、現世世俗は東の「此岸」にあります。善分と悪分の日は、この二つの世界が最も近づくととされされています。彼岸のお参りはご先祖さまにお会いする大切なご供養のときです。

■9月23日(日・祝)

人形仏具供養会

思い出のつまった人形やぬいぐるみ、大切にしていた仏具、御守り、御札などはお別れの時でも粗末に扱うことができません。そういった品々に感謝を込めて供養し、お別れの法要を行います。

受付 9時〜13時 光明殿
法会 13時〜
供養料 一口3,000円 ※詳細は8頁に

行事中止のお知らせ

誠に残念ですが、本年「月湯祈禱会」は中止となります。

興正寺開山和尚 天瑞圓照 三百回御遠忌

興正寺開山天瑞圓照和尚に寄せて

天瑞圓照和尚の足跡をたどる(9)

渡邊 正大

平成24年4月8日、興正寺の歴史を紐解く調査の一環として、大日如来さまの胎内に納められていた納入品が取り出されました。文献には記されておりましたが目にするのは初めてのこと。長い年月を経ているとは思えないくらい綺麗な形で残っており、建立当時が偲ばれます。また、目録をご覧いただければ大日如来さま建立への思いが伝わってまいります。

尊像の中に納める納入品(胎内納入品)としては仏舍利、仏像(胎内仏)、お経典、願文等の文書が一般的ですが、中には木や布で作った五臓六腑が納められていることもあります。

仏像の中に仏像を入れる。不思議に思いかもしませんが、傷んだり古くなった像を新しくする際に元の像を納めることによって、霊験を継続させると同時に保存する意味もあったのでしよう。仏舍利やお経典などは、尊像に魂を入れるため。五臓六腑は納めることで生身の仏さまとしての信仰から始められたのではないのでしょうか。また、お経典を納める意味に関して

は、仏さまは三十二の身体的な特徴(三十二相)が有るとされておりますが、三十一まではカタチで表すことが出来ませんが、梵声相と言われる声だけは表すことが出来ない為、仏さまの声の象徴となりえるお経典を胎内に納め三十二相を表したのではないかと考えもあります。

願文などの文書は建立への願いや思いをしたため自身と仏さまとの縁を強く結び、願いを子孫孫まで続くように祈ったのではないのでしょうか。いずれにしても尊像の中に納めることは、ただの木や青銅の像から信仰の対象としての仏さまへとするために人々がお考えになられた智慧の表れではないのでしょうか。

お参りされる際は、見た目だけではなく、歴史やその像に込められた方々の思いも合わせてご参拝ください。



△大日如来の胎内に様々な納入品がこめられていた

カレンダー連動企画(9)

【第九回】胎内物にこめられた想い(平成30年9月カレンダーより)

八事山文庫八月号で大日如来坐像が尾張徳川家二代 諸主光友公による生母追善供養と尾張國の平安を祈願して建立されたことをお伝えしました。これを裏付ける資料といえるのが、尊像の内に納められた「胎内品」の数々です。

目録に記された大半は今なお朽ちることなく残されていますが、中にはすでに形をなくしたものもあります。目録の始めに記されている「五寶」「五葉」「五香」「五穀」は密教の儀式で用いられるものですが、五寶以外は植物物であることから、取り出したときには朽ちて粉々になった状態で紙に包まれていました。

これとは対照的に、「永年にわたり残すもの」として奉安されたと考えられるのが石経でしょう。石経そのものは、古くは中国で大切な経典の正文を後世に遺えず伝えるために平らな石にお経を刻んだのが始まりとされています。大日如来坐像の胎内に奉安されたものは、石にお経を墨書したのですが、一字しるしては三行して書かれたと伝えられています。大切な仏の教えであり、供養と祈願を永年にわたり届け続けるため、光友公と天瑞和尚それぞれが朽ちることのない石に写経されたのでしよう。

また「佛舍利八粒」も納められていました。仏舍利は、

はじめに――
平成三〇年は、興正寺開山天瑞圓照和尚の三百回忌です。各地を歴訪する中で真言律宗の寺院建立を志し、縁あってこの八事の地に「八事山遍照院興正寺」を創建した和尚は、いかなる人物であったのか。寺に伝わる文物からそれを紐解き、一年にわたりご紹介いたします。また、今年の興正寺カレンダーでも同内容を掲載しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

お釈迦さまの遺骨などを指しますが、「真舍利」とされるものは極めて入手が困難なため、日本では遺骨として寶石や貴石を仏舍利として納めているのがほとんどです。大日如来の胎内に納められた仏舍利も、淡い色の半透明の舍利です。

(川村)

- 五寶 金・白銀・真珠・珊瑚・水晶
- 五葉 赤箭・人參・茯苓・石菖蒲・天門冬
- 五香 沈香・白檀・丁香・鬱金・龍腦
- 五穀 稻穀・大麦・小麦・綠豆・胡麻



△佛舍利



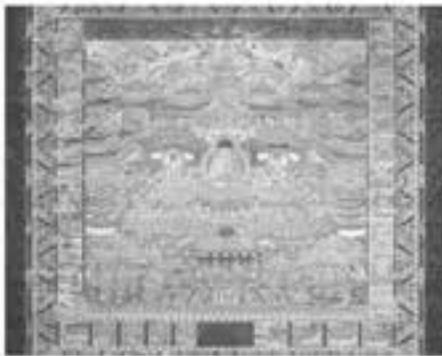
△石経 遍照院書

寺宝通心

— 第32回 —

當麻曼茶羅 (正本四分の一)

極楽浄土に出会うとき



春秋の彼岸に普照殿ホール壁面に掛けられるのがこの図像です。本紙(絵が描かれている部分)寸法縦281.0cm 横231.0cmの大幅で、尾張徳川家七代藩主宗春公が実母宣揚院の供養のために寄附されたもので、「春秋の彼岸には必ず掲げるように」とのお言葉があり、今もそれを守っています。當麻曼茶羅とは奈良の當麻寺に伝わる浄土変相図のひとつで、つぎのような伝説があります。「奈良時代、美貌と才能に恵まれた中将姫と呼ばれる娘がいました。難母に命を狙われるも、亡き母を想い仏行に励む姿に心打たれた家臣に助けられ、尼となり當麻寺に入りました。そこで観音さまのお告げを受け、蓮糸を染めて一夜でこの曼茶羅を織った」というものです。

當麻曼茶羅の特徴は、「西方極楽浄土」を中心に、左に「観無量寿經」に記された摩提希夫人の物語、右に「阿彌陀十六想観」、下部に「九品往生」といった4つの部分に分かれた構成になっていることです。一般の人には仏の教え(經典など)を読み解き理解するのは大変なことですが、図像化されたことで物語として見ることで、分かりやすくなりました。

この秋、彼岸期間中に興正寺を訪れたなら、ぜひ普照殿を訪ねてください。掛軸の前に立ち見上げると、阿彌陀如来を中心に多くの仏が集った壮麗な極楽浄土の世界が広がっています。今よりもうんと「生きること」自体が厳しかった時代に、眼前に広がる仏の世界はどれほどの衝撃を与えたことでしょう。一足飛びに仏になることは叶わないが、せめてその足元にも行きたいと人々は願ったのではないのでしょうか。浄土信仰への道が大きく開かれたきっかけのひとつが、當麻曼茶羅といえるかもしれません。(川村)

お茶がおしえてくれたしあわせ

竹翠だより

「茶の湯のころ」

お客さまをお迎え致します時、「うちみず」を敷し路地を清めます。しっとりとした水を帯びて、落ち着きをもった石畳の色合いに夏は特に涼しさを感じ、水を打つ事にも思いがこもる事です。

伝統の教え工夫は、人の心、感性に働きかけ、潤いと豊かさをもたらしてくれまます。煎茶礼法では、「点から円を描くように物を置く」といわれます。たとえは、お盆、丸盆でも角盆でも一点を付けてからスーと、全体に点を止める気持ちで置くという事です。

一つには、物を大切に作る所作であることと共に相手に対する自己の気持ちを表す意味でも大切なことです。人の考えている事や想っている事は解らないものですが、時には言葉よりもその人のしぐさが正直なことも多いのも事実です。

よって、物を置く所作にも相手に自己の気持ちや伝わります。人は見ておられるもの、感じておられるものです。自然にさりげなく、礼の心、所作を大切にしていきたいものです。

竹翠では時節に合わせて室礼を変えて

いきます。七夕、重陽の節句など五節句は主に、平素も掛け軸や季節の花を整えます。また時には、京都、金沢、松江より銘菓をお取り寄せ致します。季節のお菓子もお楽しみいただけます。暑い時期にはご希望により冷抹茶をお出しいたしております。

八月六日には、花水の節としまして、冷煎茶席にて涼やかなひと時をお過ごし頂きました。九月九日の重陽のころの室礼も菊の被褥、茶袋など、お楽しみ頂けますよう準備します。

日々是好日。その日その日が最良の一日という思いでお迎え致します。且座喫茶、ゆつたりと一服お召し上がりください。(竹翠)



△菊装束

興正寺月釜

初秋の趣あふれるお茶席です。当日受付もあります。

日時 9月8日(土)

10時~15時

※受付は14時まで

場所 竹翠亭・耕雲亭

※入口は本堂横

懸釜 松尾流村瀬玄之

※竹翠亭担当席あり

茶券 千五百円

マルシェ茶席

僧侶のお点前でお茶をいただけるお茶席です。美しいお点前の後に、ほっと笑顔がこぼれる時間をお過ごしいただけます。

日時 9月21日(金)

11時~13時(随時)

場所 茶室竹翠亭

茶券 薄茶席一席 五百円



新 杜のコラム

「観月の秋」

活き活きと燃え滾る盛夏のエネルギーよりも、萎れ行く秋の風情に共感し、人生を重ね合わせるほうが、日本人の美学には適っている。大きなものに対する感動よりも、名も知れぬ路傍の草身の中に発見するささやかな美のほうに、より深い感動を知る。なんとも西洋の哲学では理解しえぬ、ものあわれの美学であろう。

秋は観月の時節である。澄み渡った空にくっきりと輝く中秋の名月、その満月を愛でる心を持ちながら、少し形の崩れた十六夜の月に完璧ではない、はかなさの美を感じる。晩秋の月は、不足の美、こと足りぬ美を十三夜に観る。中秋の名月を芋名月といい、晩秋の名月を栗名月と呼んだ。中秋は旧暦の八月、晩秋は九月である。

満月もさることながら、月を愛でるにわれわれ日本人が一番に美しいと感じるのは、やはり三日月ではなからうか。満月の完成された美に対して、三日月は上弦の月も、下弦の月も天地水平に非対称である。形の清楚さとともに非対称なるが故のあやうさ、はかなさ、かよわさ、そういうこと足りぬものの底に潜む深奥の

美、そういう憧れをわれわれ日本人は心のどこかに懐き続けているにちがいない。

夜空に音もなく流れる星、七夕の星雲、月の影、古人は天空に輝く月や星にどれほど多くのロマンや物語を見出し続けてきたことか。輝く満月にウサギの物語を幻影し、七夕に乙女のせつなさを読み取り、竹取物語に月のロマンを映す。あやうさと儚さの中でしか生きてこられなかったであろう古人の心のせつなさが、審美という心の発見につながっていったとすれば、それは自然の命の尊さを見出し、その中に安らぎの心地を求め続けた先人たちの生きる知恵なのであろう。それを仏教では「知足」と言い表した。

それらは古人が、自然の懐にいだかれた生活の中で、そっと育んできた美の見事である。

あまりにも十分と満足を追い求め続ける現代人、そこには審美などというものは現れよう暇もない。

西部法照



興正寺さんぽへ出かけましょう!

興正寺の境内をご案内♪
八事山女窟を持って、興正寺を歩いてみませんか?
いつもと違った発見があるかもしれません!



興正寺さんぽ⑥ 新回廊

さて、水子地藏や動物供養塔に手を合わせたら、ちょっと周りを見回してみましょか。

寺の奥からの清浄な水の流れが、後ろの蛍灯池に続いているのが垣間見えます。ここでは、花菖蒲や芍薬など様々な季節の様々な花たちを見ることが出来ます。来た道を少し戻るとそこは昔、参道の両側にいらっしゃった石仏が一堂に会している「新回廊(図①)」という場所です。細長い回廊であり、御堂でもあります。余裕があったら、屋根や外側の瓦をゆっくりご覧くださいね。八事の鏝の模様入りの瓦など、ちょっと面白い工夫がしてあります。さて、回廊には六地藏さまと七観音さま、さらにお地藏さまの座像と弘法さまが3グループに分かれておられます。それぞれ優しくったり、厳しかったり、と皆様表情豊かです。あら?六地藏なのに7体いる?はい、六地藏のお隣に勝軍地藏という変わったお地藏さまがいらっしゃいます。甲冑を着けて、馬に乗っている珍しいお姿。全部で16体もの仏さまが、皆さまからいただいたよだれかけをして、時にはたくさんの千羽鶴

をその手に抱えていらっしゃる事も。いろいろな理由で参拝される方達の、その気持ちを受け止めてくださる、暖かい石の仏さまたちです。さて、ここから上に行きたいですが、エスカレーターと階段、しかも二つあります。どれを使えば良いのでしょうか? (井上)



10周年を迎え、
興正寺マルシェから
また新たなマルシェのカタチを
発信していきたい。

サロン・ド・モルタンマルシェ

代表取締役 青木 泰樹 さん

Profile

野菜の流通に携わる中で「美味しく地球環境にも優しい、自分たちが納得できる野菜や商品だけを販売したい」と、2011年にサロン・ド・マルシェを立ち上げ、2012年から興正寺マルシェをスタートした。



人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫
地域版

弘法大師の縁日である毎月21日に開催されている興正寺マルシェ。マルシェを取りまとめているサロン・ド・マルシェが、来年立ち上げから10周年を迎える。10周年を目前に控えた今年10月21日には、興正寺マルシェで大規模なイベントを企画しているという。そこで、今回はサロン・ド・マルシェ代表の青木さんに10周年に掛ける想いを伺った。

「興正寺を人々が集い交流する、昔のような生活の場にした」という思いからスタートした興正寺マルシェ。スタート当初は、知名度もなく、集客もままならなかったという。様々な問題に次ぐ次が、興正寺と共に創意工夫をこらして続けてきた興正寺マルシェも、今では知る人ぞ知るマルシェに成長し、毎月21日にはたくさんの方が足を運ぶイベントへと成長した。「10年目からは、次の新しいマルシェのカタチを提案していきたいので、その前年度である今年に新たなマルシェを発信するための、何か大きなイベントができないかと考えました。そして、それをやるなら僕が様々なマルシェを手掛けるきっかけとなった興正寺マルシェで、絶対やりたいと思っただけです」と、青木さん。その思いから10月の興正寺マルシェでのイベント構想がスタートしたという。

「僕は、マルシェに物をただ売ったり買ったりするだけの場所ではなく、コミュニティとしての可能性を感じています。核家族化が進み、個の生活が当たり前に警戒心ばかりが強くなり近所付き合いも少ない現代社会。その分、自分たちの問題は自分たちだけで解決しなければならず、育児などで困り事があったとしても、頼れる所がなくストレスを重ねるばかり。そんな時、マルシェでコミュニティが築ければ、そういった問題を緩和していただけるのではないかと思っています。」と、青木さんは言う。「確かに人付き合いは面倒なこともありますが、しかし、祖父母や隣近所との関係をきちんと確立することで、子ども達は家族以外の人との交流で学んだり、保護者にとっては助けられることもあったり、面倒という思いを上回る良さがあるんです。今、それが改めて見直されつつあります。それをマルシェを使って上手く繋いでいけるように、10月のイベントを企画しています。」と、青木さん。10月21日の興正寺マルシェでは、事前に芋掘りを行う、マルシェ当日にボーイスカウトが製作するかまどで芋煮汁をふるまったり、軍用機に乗っている古い着物をお子さんやお孫さん達に着せてのファッションショーや、夏休み中に子ども達に描いてもらったマルシェや興正寺の絵の展覧会、看取り医療についての講演や体験、ワークショップなど、子どもやお年寄りにスポーツを当てた様々な催しを企画しているそうだ。



参道から境内にかけてたくさんのお店が並ぶ。



マルシェでは、光明殿に授乳室を設置。乳児連れでも安心して楽しめる。



お店ばかりではなく、子ども達がのびのび遊べるブースも。

最大150店舗が出店(農産物・キッチンカー・手芸・工芸品など)

10周年記念「興正寺マルシェ」

「つなごう! 子供たちの未来に、安心・安全を」

日時 10月21日(日) 場所 八事山興正寺 境内全域

催し ☆芋煮汁のふるまい ☆お絵かき展 ☆座禅体験 他

※その他にもたくさんのお店や、子供たちが普段なかなか経験できない「体験ブース」もたくさん用意してお待ちしています。



問い合わせ先

サロン・ド・マルシェ運営事務局 TEL:052-798-6522 (平日10時~17時)

とうばくどく 塔婆の功德

塔婆とは、「卒塔婆」の略語で、サンスクリット語のストゥーパがルーツ。昔、釈迦が入滅したあと、その舍利(遺骨)を納めた塔(ストゥーパ)を建てて供養したのが始まりとされています。卒塔婆は、故人や先祖を供養する追善供養(生きている人が亡くなった人のために行う供養のこと)の目的で建てられます。追善の文字があらわすように、生きている人が亡くなった人の代わりに、この世で行う最良の行為で、その功德はまた自分に戻ってくるとされています。



興正寺の塔婆は、1本1本手書きでお作りしております。

【塔婆供養料】

彼岸供養をされる皆様には、先祖追善の「塔婆」を授与いたします。

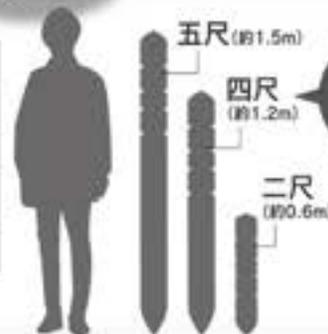
ようはいくよう 遙拝供養

秋季彼岸会に参加できない皆様には、當山が施主様に代わり、先祖供養をお勤めする「遙拝供養」をおすすめいたします。

塔婆の大きさ	塔婆供養料	
	一筆でお申込みの場合	先祖代々でお申込みの場合
五尺	15,000円	20,000円
四尺	10,000円	15,000円
二尺	5,000円	10,000円

※六尺はご相談承ります。

塔婆サイズのイメージ



興正寺は四尺をおすすめします

特別永代祠堂法会 招待制

西山本堂奥に位置する浄域「霊牌殿」に特別永代経位牌をお納めの皆様と、年に一度、ご先祖様への供養を勤める特別な法会です。興正寺と有縁の各家皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【日時】9月24日(日) 11:00~
 法会 約40分
 御齋(お食事) 約1時間

【場所】西山本堂

■特別永代経(特別永代経位牌)とは?
 永代供養や墓地を有する御本人様や御遺族からの申し出に際し、興正寺がこれを認められた方にのみ提供される、最も高い格式を誇るご供養の形態です。

奉納おはぎ 当日まで受付可

←1口 1,000円から

興正寺ではお彼岸の間、皆様に代わり、仏さまやご先祖様に「おはぎ」をお供えさせていただきます。奉納いただきましたお施主様は、お名前を西山本堂あるいは圓照堂にあげさせていただきます。



申込方法 振込、または来寺(納経所)にて ※ご都合が合わず、参列できない方は「遙拝供養」にてお申込みください。

振込の場合

9月13日(木)
 締切
 ※現金の郵送はご遠慮ください。(補償がございません)

1 申込書・振込用紙・返信用封筒に記入する。申込書は返信用封筒に入れる。



※この部分は切り取ってご自分の控えとしてお持ちください。

2 お近くの郵便局で
 ・振込
 ・申込書の発送手続きをする。

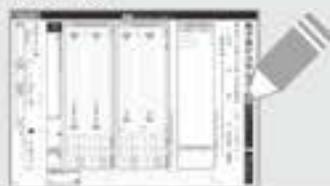


3 手続き完了

来寺の場合

当日まで
 (当日の場合)
 塔婆準備の
 待ち時間有

1 申込書に記入する。



2 納経所にて次の手続きを行う。
 ・申込書持参
 ・供養料お納め



3 手続き完了

お彼岸とは?

— お彼岸にお墓参りをするのはなぜ? —

古来、農耕民族であった日本人にとって、収穫を左右する太陽は大切な信仰対象でした。春の種まきや秋の収穫期と相まって、万物自然への畏敬の念と日々の恵みへの感謝、そして、祖先を大切に作る人間本来の気持ちが育まれたのも当然のことでしょう。

仏教伝来の前、古の日本人は自然信仰や祖先崇拜の祈りなど、太陽に少しでも近い、身近な山の頂や高台に登ってご先祖様に感謝と供物を捧げ、その年の豊作や

無病息災を願いました。その風習が、今日のお墓参りへと繋がっています。これが後に、本格的な仏教思想の拡がり結びつくことで、阿弥陀の極楽浄土は西の「彼岸」に、現世俗世は東の「此岸(シガン)」にあるとされました。春分・秋分にこそ、あの世とこの世が最も近くなると信じられていくのです。

彼岸の墓参りは、こうしてご先祖様にお会いするための日本独自の文化風習となりました。



※左図の通り、広く一般に知られるお彼岸の由来は、主に浄土宗が説く考え方ですが、興正寺を始めとする真言宗各寺院では、お墓参りの大切さを重視しています。お彼岸中、當山に御縁のある皆様は「六種供養」即ち「六波羅蜜」の考え方に基づく生活を実践し、ご先祖様のご供養に、ぜひ感謝の真心でお墓参りにご来寺くださいませ。

平成30年 秋季彼岸会

【期 間】 9月20日(木)～9月26日(水)

下記日時で合同供養会にご参加ください。平服でもご参加いただけます。

※期間中は混雑が予想される為、なるべく公共交通機関をご利用ください。

予約
優先

【供養料】 右頁「塔婆の功德」の欄の[塔婆供養料]を参照

【場 所】 下表の各会場(西山本堂・圓照堂)

▲ 法会開始10分前までに受付をお済ませください。各回法会の所要時間は30～40分です。

西山本堂

(一般/靈龕堂 ご契約者様/法華陀浄苑 ご契約者様)

法会日時	20日 (木)	21日 (金)	22日 (土)	23日 (日・祝)	24日 (月)	25日 (火)	26日 (水)
8:00～	○	○	○	○	○	○	○
11:00～	○	○	○	○	特別 水代	○	○
13:00～	○	○	○	○	○	○	○
16:00～	○	○	○	○	○	○	○

混雑予想 ▶ ...混雑が予想されます。

圓照堂

(圓照堂 ご契約者様)

法会日時	20日 (木)	21日 (金)	22日 (土)	23日 (日・祝)	24日 (月)	25日 (火)	26日 (水)
8:00～	○	○	○	○	○	○	○
10:00～	○	○	○	○	○	○	○
11:00～	○	○	○	○	○	△	△
14:00～	○	○	○	○	○	○	○
15:00～	△	△	○	○	○	△	△
16:00～	○	○	○	○	○	○	○

混雑予想 ▶ ...混雑が予想されます。

■ 興正寺施主慰霊法会 9月23日(日・祝) 秋分の日 9:30～ 西山本堂にて興正寺が施主となり彼岸供養のお勤めをいたします。

人形仏具供養について

興正寺では春秋のお彼岸時に「人形仏具供養会」を執り行っております。ご先祖さまのためのお経とはまた別に、うかつには処分できない、尊い仏具や想い出の詰まった人形などのご供養をお受けいたしております。この「人形仏具供養」のように、「もの」を最後まで大事に扱うという感覚は、もしかしたら東洋独特のものかもしれません。たとえば、アメリカ人の子どもは部屋に本を散らかして、その上を土足で踏みつけても平気だと聞いたことがあります(真偽の程は不明ですが…)。この話を聞いて「いくらなんでも、本を土足で踏むなんて…!」と感じませんか? 西洋人と違って私たち東洋人は「ただの紙の束(=本)」に、それ以上の想いや敬意を無意識に感じるのです。

では、ただの「もの」が、ただの「もの」と思えなくなるのはなぜでしょうか? それは「もの」に対する想いによるのに違いありません。たとえば、小さい時から可愛がってきた人形や、ご先祖さまが大切に拝んできた仏壇の仏具など、使わなくなったからと言って、無下にはできない。それはつまり、誰かが大事にしてきたという歴史があり、想いが込められている、それを粗末にはできないということなのでしょう。さらに言えば、大切に使用された道具には「魂が宿る」という信仰もあります。百年を過ぎた道具は「付喪神」という神さまになる、という言い伝えもあり、私たちは「要らなくなったから捨てればいい」とは割り切れないことも多々あるのかもしれない。

世界を見渡すと、インドでも大切に使った道具を供養する

儀式があるそうです。北海道のアイヌの人たちも「イワクテ」という儀式でもって道具の「霊送り」をしていました。古くは日本の貝塚も、食料になった貝への感謝を捧げるために作られた祈りの場だとも言われます。道具は作る手間暇もかかり、また道具がなければ成り立たない仕事というものも多数あります。それら役目を終えた道具の為に、特に感謝を捧げる儀式として、たとえば「針供養」「筆供養」などが執り行われることもあります。近年は「ランドセル供養」というものもあるそうです。もしも大切だったけど処分しなければならなくなった人形や仏具などございましたら、ぜひ興正寺の「人形仏具供養会」にてご供養ください。僧侶が心を込めてご供養させていただきます。

(栴田)

※仏壇、位牌、仏像につきましては個別に承りますのでご相談ください。



△法会のような様子



△供養される人形たち

お坊さんダイレクト・出張版 仏事のお悩み相談室

仏事の疑問に僧侶がホンネで答える
「お坊さんダイレクト」の出張版！
皆様のひと言お悩み相談に、僧侶・
栴田英伸さんがお答えいたします。



ひふみちゃん

Q 僧侶のことを、何と呼ぶのが一番いいのですか?

A

宗派によって違いますし、立場によって尊称も変わるので、むしろ「お坊さまのこと」を何と呼称をつけて呼べばよいですか? と尋ねてしまった方が正解かもしれません。「住職」というのは、そのお寺で一番偉い人ひとりを指すので、複数の僧侶がいるお寺では使えないです。一般的には「和尚さん」「導師さま」は浄土宗では「上人」をつけるのと失礼に当たります。「和僧さん」が略して「オッサン」と親しみを込めて呼ぶこともあります。真宗の「院家さん」は住職への親しみを込めた呼称になります。

どの僧侶でも、シンプルに「お坊さん」「お寺さん」と呼べば通じますが、「お本人に対しては少し呼びかけにくいかもしれませんね」「和尚さま」は宗派によって「かしら」「わじま」など呼び方が変わりますし、不安でしたらその都度、目の前のお坊さんに確認を取るのが一番間違いがありません。



英伸さん

お気軽に「仏事のひと言相談」をお寄せください。
仏壇じまい・お墓じまい・法事の事…
僧侶がお答えいたします。

【必要事項(お電話にて記入ください)】

- ・ひと言相談 (40文字まで)
- ・お名前
- ・年齢
- ・性別
- ・ご住所
- ・お電話番号
- (ひと言相談以外は掲載いたしません)

【お電話の宛先】

〒466-1082

愛知県名古屋市長区八事本町7-8

八事山 興正寺 普賢殿内

八事山文庫「仏事のお悩み相談室」係

八事山 興正寺「千燈祭」

稚児行列

お稚児さん募集

平成30年10月6日(土)

対象年齢 0歳～中学生の男女

お稚児さんの起源は古く、稚児行列への参加はとて貴重で稀なご縁と言われます。そのような事情から、「稚児を3度も務められることはとても尊いことであり、特に幸せになれる」と言われています。この機縁に、身体健全などお子様の健やかなる成長をご祈願ください。



◆ 申込方法 ◆ 祈禱料のお納めをもちまして、お申込み完了とさせていただきます。

1 WEB受付 (振込入金)
興正寺公式ホームページ内「稚児募集」のお知らせよりご応募ください。
富山にて応募確認後、郵便振込用紙を送付いたしますので、ご入金を以て受付完了といたします。
公式ホームページ <http://www.koushoji.or.jp>

2 来寺受付 (現金入金)
稚児の
○生年月日 ○名前
○申込者(当日参列の保護者)の氏名・住所・連絡先を、ご確認の上、受付(納経所)にて記入・入金を以て受付完了といたします。

受付締切

9月21日(日)まで

稚児行列 ～ 盛装プラン ～

■ 供養燈籠 1基 授与
■ 特別護摩木 1本

役稚児

可愛い巫女衣装で
信宿参列ができます

限定
5名

対象 8歳～中学生の女児

祈禱料 9,000円



子ども山伏

山伏に衣装!
信宿参列ができます

限定
3名

対象 8歳～中学生の男児

祈禱料 9,000円



一般稚児

お気軽にご参加
いただけます

限定
150名

対象 0歳～中学生

祈禱料 6,000円



※衣装はすべてご用意いたします。当日は襟ぐりの開いたTシャツ(U首のシャツ)を着用ください。運動靴など歩きやすい靴でお越しください。
※行列と一緒に進列される保護者の方は、お子様1名につき1名まで、盛装したお稚児さんと共に進列しますので、行列に合う装いでご参加ください。
※役稚児・子ども山伏は行列の先頭に入ってください。保護者は行列に入れません。
※幼稚園や保育園など団体で参加される場合は、バスなどのご利用について事前にご相談ください。
※雨天の場合は、普門園にて催行いたします。

稚児行列 ～ タイムスケジュール ～

時間	スケジュール	場所
12:00	受付開始 ※時間指定あり	普照殿ロビー
	稚児衣装に着替え (記念撮影などしてお過ごしください)	普照殿「華宮」
14:45	行列整列	参道
15:00	行列出発	参道・門前
	加持祈禱	五重塔前
16:00	稚児行列終了・着替え	普照殿「華宮」

着替えが終わった方は、大日堂広場での「栄燈大護摩祈禱」にもぜひご参加ください

授与品

特別護摩木

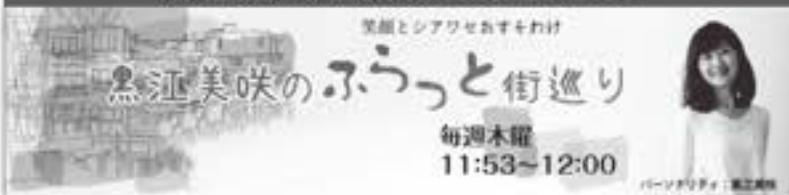
千燈祭のみの特別な護摩木です。
願文を書いて燃やし、
身体健全を祈禱します。

・当日授与可
1本一冊 500円

※期間限定の授与品です
ご家族
それぞれにて
祈願・供養
いただけます

※ スケジュールや内容は都合により変更になる可能性があります。 ※ 雨天時の稚児行列は普門園にて催行いたします。

「もっと地元を好きになってほしい」という想いから生まれた
八事山興正寺の提供のラジオ番組です



知ってるお店が登場するかも?! @FM80.7

7月26日 **みどり楽器**
放送 名古屋市昭和区川名山町155 TEL:052-832-0011
【営業時間】10:00~21:00(日曜は20:00)
【定休日】不定休
店内には楽器や楽譜、CD、DVDが所狭しと並んでいます。音楽を通じて地域と繋がるお店を訪れると、仲の良いご兄弟が笑顔で迎えてくれます。奥にあるスタジオからは全国に巣立ったアーティストも!! ファンにとっては聖地ともいわれる場所になっています。昔は楽器屋さんがいっつもあった秋中で、今も親しまれています。

8月2日 **フェアリーテール(紅茶専門店)**
放送 名古屋市昭和区単人町6-5 ドミールSK1階南 TEL:052-837-7411
【営業時間】10:30~19:00
【定休日】日曜・月曜・祝日
紅茶の専門店。可愛らしい外観に惹かれ扉を開けると紅茶だけではなく思わず手に取りたくなる小物も並んでいます。アッサムやダージリンといったスタンダードなものからオリジナルブレンドやフレーバーティーまで、目移りしてしまう品揃えです。遠方からも注文が入る人気店です。

8月9日 **サラダショップランチア秋中店**
放送 名古屋市昭和区単人町1-4 TEL:052-763-1577
【営業時間】8:00~16:00(L.O.15:00)
【定休日】不定休
ブルーの色味がアクセントになった店内は、ゆったりとした不思議な空気感。学生時代にお母さんも通っていたというお客さんもいる長年地元で親しまれてきたお店です。看板メニューのサンドイッチはボリューム満点でありながら野菜たっぷり女性でもべろりとたいらげられます。

8月16日 **原価パー芽育**
放送 名古屋市昭和区単人町7-9 TEL:052-893-9819
【営業時間】お問合せください
【定休日】お問合せください
名古屋では珍しい「原価パー」。チャージ料を支払えば、飲み物も食べ物もほぼ原価!持ち込みだってOKです。自分の部屋にみんなが遊びに来る、そんな気軽な空間で楽しい時間を共有したいと始めたこのスタイルは、訪れる人を笑顔にしています。お酒の瓶と一緒に並ぶ地域限定のカップラーメンや缶詰を眺めるだけでも楽しいお店です。

こちらからもお聞きいただけます <http://fma.co.jp/f/prg/machimeguri/>



7月7日に倒れた大樹の根元部分

今年の7月に起きた水害では各地に大きな被害がでました。寺でも能満堂の近くにあってかなり大きな椎の木が、周辺の松を巻き込みながら倒れてしまいました。八事のお山には古木だけでなく、古い御堂、苔むした石燈籠や石畳など危険な所がいっぱいあります。今年のような厳しい自然を前にすると、景観より優先して「立入禁止」の貼り紙をしたくなります。守るべきは文化遺産としての古さか、それとも今日一日の安全か。この夏はずいぶん悩んだ日々でした。年月を刻み、古い歴史を持つ古刹だからこそ、私達は日々新旧のせめぎ合いを見て、色々な、時には

真逆の意見を聞きます。歴史ある建物を、年を重ねた大木を壊したり切ったりするな、と声高に叫ぶ方もいます。年配者のために車で御堂まで入れるとか、もつと舗装した道を、もつとエスカレーターを...と望む声もあります。「今あること」に感謝して、実際に協力して下さる皆さまと共に「明日」のために何をするか。セミなどのお山の命の発する声は、まるで読経のように山に響きます。今月は、私達は何が欲しいかではなく、「八事山のために何が出来るか」を真摯に考えながら、真剣に生きる命の道を歩いてみませんか。(井上)

八事のお山の
昨日
今日
あした

「じもポン(地元応援クーポン)」が使える加盟店さんをご紹介します!

地元応援クーポン

じもポン
を使ってみよう!

第6回



野菜ランチ

じもポン(地元応援クーポンの愛称)とは八事・秋中・岩倉口エリアの提携店舗で使用できる興正寺発行の地域応援券です。(本券は、興正寺のさまざまな行事等で差し立てあります)

興正寺から徒歩5分のところにある野菜中心のメニューが食べられるカフェ。肉や魚を使わず野菜のみのお惣菜5種とプチスイーツが付いた「贅沢ランチ」(1300円)は、ボリュームがあり、野菜の酵素で消化も良いと人気です。スムージーやスイーツもおいしいですよ。

SAISYOKUKENBI

名古屋市昭和区広路町石坂37-6 八事石坂ビル1F
TEL:052-848-7361
営業時間/11:00~17:30(L.O.17:00) ランチタイム11:00~14:00
定休日:火曜日

お知らせ 掲示板

甘味・食事処 **八琴庵**

9月 季節のそば

きのこ餡かけ蕎麦

5・13・21日限定



長野県の生産者さまが作っているしめじを使用しています。紗羅麵の出汁のきいたかけつゆを餡仕立てにすることで、そばとの相性も高まります。

9月定休日: 9/11(火) ・10月定休日: 10/9(火)
営業時間: 10:00~16:00 (L.O.15:30)
定休日: 毎月5日を過ぎた火曜日

こよみよみ

九月・長月 夜が長くなる(長月) 秋分が降る(長月)

九月七日 白露 夜中に大気が冷え、草花や木々に朝露が降りはじめ、降りた露は光り、白粒のように見える。

九月二十三日 秋分 太陽が真東から昇り真西に沈み、昼と夜の長さが同じになる日を中心とした一週間が秋の彼岸。

九月 9月

八事今昔物語り ～そこにお寺のある暮らし～ 13

恵みの雨という言葉がありますが、何事も過ぎたるは及ばざるが如し。今年は大変な災害となりました。多くの命が奪われ、自然の厳しさに身も凍る日々が続きました。今年戊戌は、十干の戌と十二支の戌が重なる60年に一回の年です。この年は、物事の振幅が極端だと言われます。戌の文字は繁栄するという意味も持ちます(こ)から戌るという字が生まれました(こ)には物事の終わりを、無くなった、という意味があるとも言われます(こ)から滅という字が生まれました。よく似た文字ですが、意味

は正反対なのです。でも、戌年生まれが悪いという意味ではないので、そこは間違えてはいけません。善し悪しの狭間に立ち、盛衰が激しい、二つ開きもある結果を招く何か起きる年でもあるということ。これからの半年が良い方へ、一日も早い復旧と繁栄へと続く年であって欲しいと強く祈らずにはいられません。 かつて、尾張徳川家光友公は、大日如来を祀られるときに、水に流されず火に燃えない、この尾張を永遠に守る仏を(こ)とおっしゃられたと伝わっています。光友公にはおそろしく災害で流

今月の興正寺サン



昭和区在住 ゆっちゃんファミリー

境内のピオトープで、姉弟仲良くザリガニ釣りを楽しんでいた、ゆっちゃんファミリー。 10年前に八事エリアに引っ越してきて以来、子ども達を連れてよく

興正寺に遊びに来ているという。子ども達が通っていた保育園のお散歩コースにもなっているのだそう。三姉弟の一番下の男の子は、生まれた時から興正寺に遊びに来ていて、一番上のお姉ちゃんも、興正寺のお寺でお泊まり会に過去2度も参加するほどのファンで、今年の中止をとっても残念がっていた。



天白区在住 山口さん一家

天白区でベーカーリーカフェ「ラルジュ」という食パン専門店を営まれている、山口さん一家。 イベント出店を考えた寺に遊びに来てもらって、マルシェがどんな感じか見たくて、興正寺

マルシェに足を運んだのだそう。 お父さんは子どもの頃に、興正寺に来たことがあるそうで、その頃よりも明るくて、とてもキレイになった印象だと話してくれた。お母さんやお子さん達も、暑い中ではあったが、おいしい物を食べたり、境内を散策したりと楽しまれている様子だった。

観音堂九万九千日

去る8月10日、西山観音堂にて九万九千日法会が執り行われました。 観音さまのご縁日は、毎月18日があてられておりますが、室町時代以降には「功德日」といわれる縁日が設けられるようになりました。功德日とは、その日に参拝すると、1000日、10000日などの功德が得られるという特別な日を指します。興正寺の西山観音堂では、毎年8月10日を最大の功德日とし、「九万九千日」と呼び、この日にお参りをすれば、功德が九万九千日分にも広がります。 当日は早朝にもかかわらず大勢の檀信徒さまにご参拝いただきました。また、九万九千日法会に合わせて、のぼり幡奉納祈願をお勤め致しました。のぼり幡は、法会後に観音堂周辺に奉納させて頂きました。

皆さまのおかげをもちまして、無事に九万九千日法会が終了いたしましたことご報告させていただきます。参拝者の皆さま、のぼり幡奉納者の皆さまには、心より厚く御礼申し上げます。(海良)

興正寺のまなびの講座紹介

遊翠の心 阿息観

阿息観とは、吐く息、吸う息にいのちの本源である「阿」の声を唱えて、大自然と呼吸を合わせ「阿」の声とひとつになって宇宙の大生命を感じる瞑想法です。また、阿息観は呼吸を中心として行い健康長寿としても効果があるため命息観とも呼ばれます。

呼吸は人間の生命維持の根本です。生まれたその瞬間から呼吸は始まり休むことなく現在の自分に至ります。「阿」の呼吸と云う言葉がありますが、私たちはこの世に生まれてきた時、第一声に「オキヤ」と口を開けて、息を「阿」と吐き出すことから始まり、そして「阿」と口を閉じて息が止まる時に最期をむかえます。生の始めから終りまで、すべての原点は呼吸なのです。

「遊翠の心阿息観講座」では、初心者の方でも安心して参加できるように、僧侶による指導のもと阿息観を実修いたします。阿息観を行う際は胡坐をかきますが、ご自身に合った座り方でも大丈夫です。また椅子のご準備も可能です。参加するときの服装は、身体が締め付けられないような動きやすい服装がお勧めです。ゆったりとした呼吸の中で、普段の時間を忘れ自分の心と向き合うひとときを、ぜひ体験してみてください。(海良)

- ◆次回開催日/9月25日(火)
◆時間 ①10時~12時 ②14時~16時 ※要予約
◆場所 竹翠亭
◆参加費 1,500円(聖茶付)
◆持ち物 特になし
◆定員 各回12名

お坊さんダイレクト

仏事の疑問の僧侶がホンネで答える新スタイル相談会
9月1日(土)、7日(金)、13日(木)
各日10時~15時 完全予約制(各回50分ずつ)
★予約申込 公式ホームページまたは電話にて

編集後記

秋といえはお月見、満月は年に何度も見ることができず、旧暦の8月15日の月、溜みわたった夜空に浮かび、とりわけ明るく浴えわたると言われています。名月をとってこれると泣く子かな(俳人小林一茶が詠んだこの句に、泣いて背に負われ夜の戸外を行く親子の姿が浮かびます。届かぬ月をねだる子に、しみじみと感じ入る今日この頃です。

興正寺行事カレンダー

9月

普門回拜観(竹翠亭利用)時間 10:00~16:00
 休日(休業日) / 1日(土)・2日(日)・3日(月)・7日(金)・8日(土)・9日(日)
 10日(月)・13日(木)・14日(金)・17日(月)・18日(火)・22日(土)・29日(土)

月	火	水	木	金	土	日
27 大安	28 赤口	29 先勝	30 友引	31 先負	1 仏滅 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	2 大安
3 赤口 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂	4 先勝 ★永代供養受付定休日	5 友引 ◎大随求明王 縁日 露店アリ 10:00 干支成満満り ◎大般若転読祈禱会 10:00 11:30 本堂 大随求明王	6 先負 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 梶田英伸	7 仏滅	8 大安 白露 ☆いのちの修行一日 体験 10:00 普照殿受付 要予約 ◎大日如来縁日 理趣分経祈禱 12:30 大日堂 ☆興正寺月釜 10:00~15:00 二席 1,500円 大日如来	9 赤口
10 友引 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦宣秀	11 先負 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山海良 ★八尋庵定休日 ★永代供養受付定休日	12 仏滅 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 応用 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	13 大安 ◎虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 干支成満満り 虚空蔵菩薩	14 赤口	15 先勝 戌の日 ◎東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村智弘 阿弥陀如来	16 友引
17 先負 敬老の日	18 仏滅 ▽仏典読解講座 10:00 普照殿 梶田英伸 ◎観世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話 観世音菩薩	19 大安	20 赤口 彼岸入り ◎秋季彼岸合同供養会 墓地・霊舎堂・依羅陀浄苑・永代納骨・一般檀信徒の方は本堂へ 本堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 16:00 弘法大師 興正寺マルシェ	21 先勝 ◎弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ▽写経写仏講座 11:30 光明殿 ◎月並御影供 14:00 西山本堂 ☆TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ☆マルシェ茶席 11:00~13:00 随時 竹翠亭 500円	22 友引	23 先負 秋分の日 秋分 ◎興正寺施主慰霊法会 9:30 本堂 ◎人形仏具供養会 13:00 光明殿
24 仏滅 ◎地藏菩薩縁日 13:00 能満堂 大鼓おくり/紙芝居 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ◎特別永代祠堂法会 圓照堂に納骨されている方は圓照堂へ 本堂 8:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00 地藏菩薩	25 大安 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山海良 ★永代供養受付定休日	26 赤口 彼岸明け 本堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 14:00 16:00	27 先勝 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 茶の煎 10:00 14:00 竹翠亭 要予約	28 友引 ◎不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 ▽遊翠の心 きもの装い 応用 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 不動明王	29 先負	30 仏滅 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦宣秀

※阿字観(杉浦宣弘師)/御詠歌上級講座(鈴村隆弘師)/御詠歌初級講座(鈴村智弘師)の開講日程については、担当僧侶に直接お問い合わせください。(電話問い合わせ不可)